

(図中の口上文)

市川団十郎

高ふはムリ升が乍憚口上を以申上奉り升先は  
当芝居御ひいきとあつて初日より永当く

御見物被成下候段座元中村勘三郎は

申に及ばず芝居掛り合之者共

一同心魂にてつし如何斗か

難有仕合に奉存升分て

申上奉り升は関三十郎儀

文化五年始て御当地罷下り

拾九ケ年の間評判 立者の

部にくわゝり升る段ひとへに

大江戸御ひいき厚き御取立と

心魂にてつし難有仕合に奉存升

然る処此度親共年回到付古郷へ罷登り

升るにつき御名残狂言を相勤る様申聞升

たる処三十郎儀達て辞退仕升たるを去御ひいき様より

御進めにて第一番目盛衰記第二番目吃又平大津絵所作事相勤

升る是より鳥渡三十郎御礼口上申上奉り升 東西く